

2021年8月中旬配本予定

ドキュメンタリー叢書#02

金子遊+若林良+吉田悠樹彦=編

# アニエス・ヴァルダ——愛と記憶のシネアスト(仮)

四六判 ISBN 978 - 4-906960-13-2 C0074 本体2000円(予)

2019年3月、映画監督のアニエス・ヴァルダ（1928-2019）が亡くなった。ベルギーで生まれ、第二次世界大戦中はフランス南部の町で家族と船上での生活を送っていたことで知られる。戦後はソルボンヌ大学で文学と心理学の学位を取得し、やがて写真家としてデビューする。1955年には『ラ・ポワント・クールト』で映画監督としてもデビューし、やがてゴダール・トリュフォーなどを中心とした「ヌーヴェル・ヴァーグ」の一角として頭角を現すようになる。映画監督のジャック・ドゥミと1962年に結婚し、息子のマチュー・ドゥミは俳優、娘のロザリーは映画衣装デザイナーになった。

代表作としては『幸福』（1965年、ベルリン国際映画祭銀熊賞）、『冬の旅』（1985年、ヴェネツィア国際映画祭金獅子賞）、『落穂拾い』（2002年）などがある。晩年には54歳年下の写真家・アーティストのJRと共同で『顔たち、ところどころ』（2017年）を発表し、健在ぶりを示した。

ヴァルダは60年以上におよぶキャリアの中で24本の作品を発表し、その中にはドキュメンタリーも多く含まれている。また、写真やアートインスタレーションの分野でも確かな影響力を発揮し、晩年にはフランスのCinéSalonで展覧会を開催している。本書はアニエス・ヴァルダを追悼する本であるとともに、その功績を振り返り、次世代の映画、またより広い文脈での、あらたな芸術の礎とすることを目指す論集である。

## ○第一部 インタビュー

ロザリー・ヴァルダ（アニエス・ヴァルダの長女）インタビュー

——アニエス・ヴァルダは愛情深く好奇心旺盛、同時に要求が厳しい母親でした 魚住桜子

## ○第二部 論考

大寺眞輔、原田麻衣、松房子、千葉文夫、東志保、児玉美月、吉田悠樹彦、金子遊、若林良、菊井崇史

## ○第三部

アニエス・ヴァルダ作品ガイド

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX: 03-3721-1922** TEL:03-6715-6121 Mail: info@tsubamebook.com <http://tsubamebook.com>

貴店名（番線印）	新刊 neoneo編集室 <a href="http://webneo.org/">http://webneo.org/</a>	
	<small>返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人</small>	
ご担当： 様	ドキュメンタリー叢書#02	
	冊	アニエス・ヴァルダ——愛と記憶のシネアスト(仮)
	四六判	ISBN 978 - 4-906960-13-2 C0074 本体2000円(予)